



介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

2022年3月期第2四半期 決算説明資料

2021年11月9日

株式会社ケアサービス
(東証JASDAQ 2425)

【売上高】

- 主力のデイサービスは、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言が続いたことにより、利用控えが4月から継続し、売上減
- 訪問系サービス（訪問入浴、訪問介護、訪問看護等）は、通所系・施設系サービスの補完需要により堅調に推移
- エンゼルケアサービスは、引き続き好調に推移

【営業利益】

- 事業部門：既存事業の売上増、前期に行った事業所の再編統合等の効果、消耗品等の仕入コスト削減、派遣費用の削減、事業所業務の効率化により増益
- 本 社：部門統合再編による労務費等の削減に加え、業務のさらなる効率化を進め、経費を圧縮

2022年3月期 第2四半期 決算概要

- 売上高： 対前年同四半期比 5.7%増収
- 営業利益： 同 96.3%増益
- 経常利益： 同 98.0%増益
- 親会社株主に帰属する四半期純利益： 同 126.0%増益

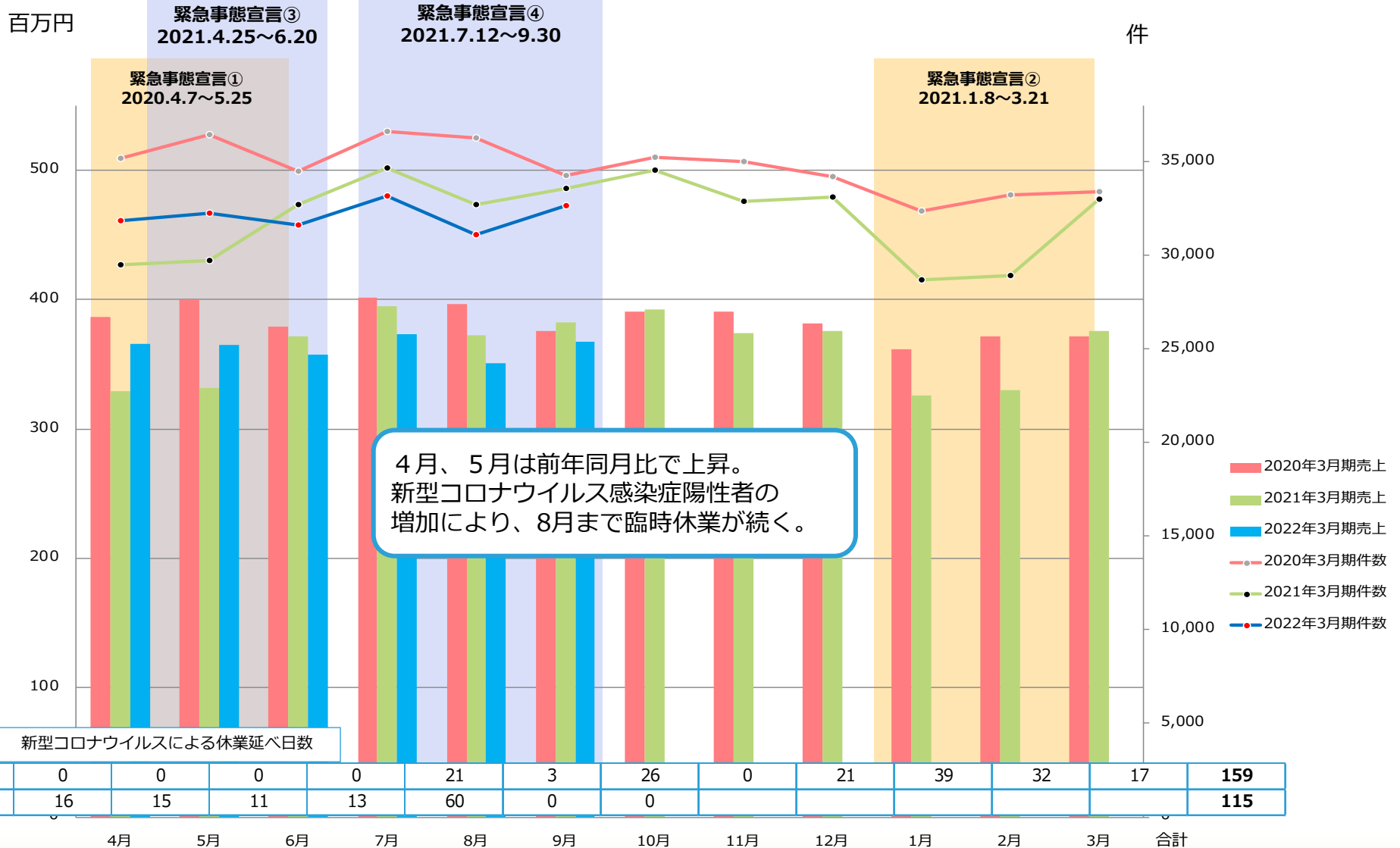
(百万円)	2021年3月期2Q(連結)		2022年3月期2Q(連結)		対前年同四半期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	4,210	100.0%	4,449	100.0%	239	5.7%
売上総利益	496	11.8%	602	13.5%	105	21.2%
販売費及び一般管理費	406	9.6%	424	9.5%	18	4.4%
営業利益	90	2.2%	178	4.0%	87	96.3%
経常利益	96	2.3%	191	4.3%	94	98.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益	52	1.3%	119	2.7%	66	126.0%

2022年3月期 第2四半期 事業別業績概要

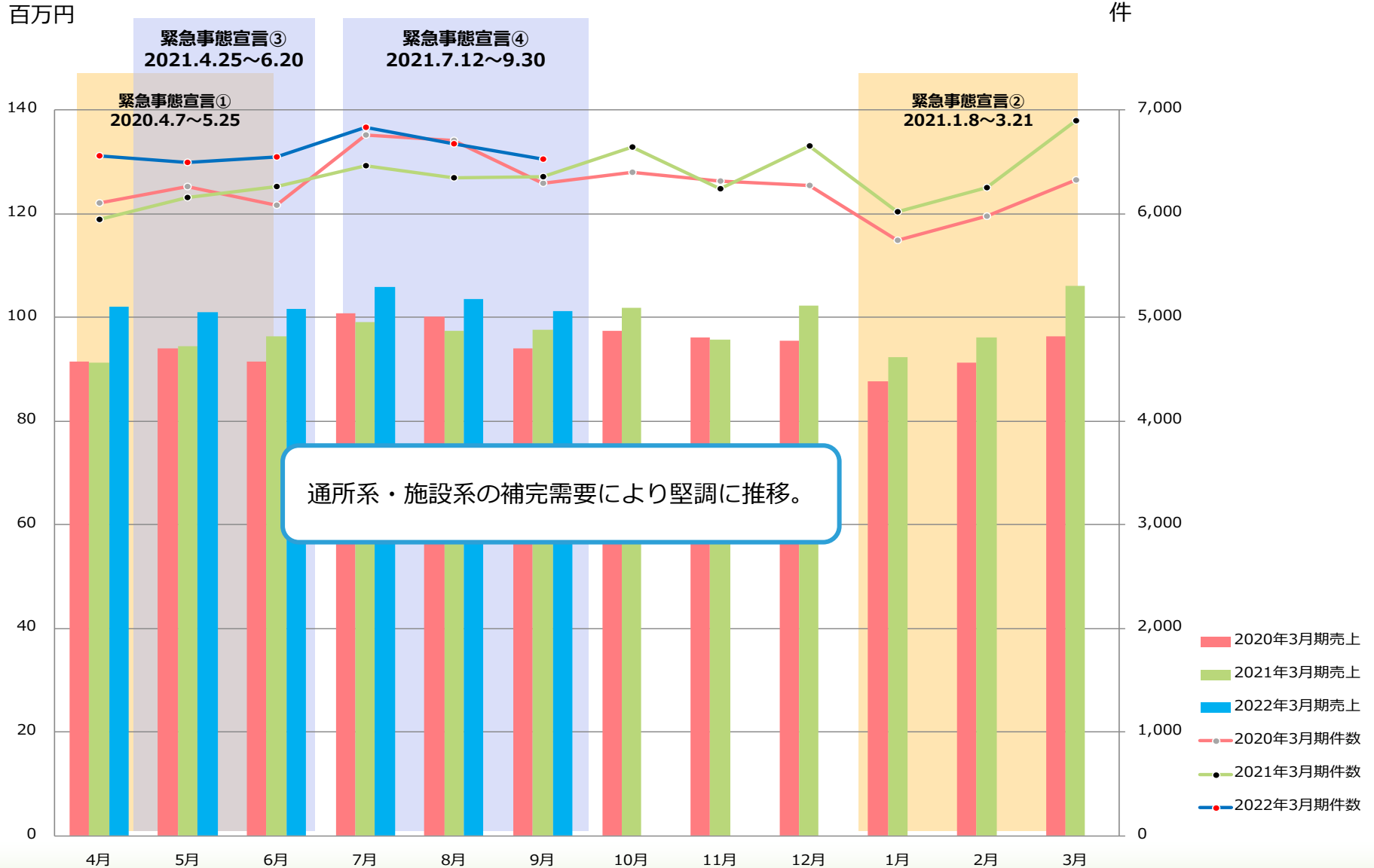
- 在宅介護サービス : 対前年同四半期比 3.2%増収 12.4%増益
- シニア向け総合サービス : 同 13.7%増収 48.9%増益

(百万円)	2021年3月期2Q(連結)		2022年3月期2Q(連結)		対前年同四半期比	
	実績	対売上高 比率	実績	対売上高 比率	増減額	増減率
売上高	4,210	100.0%	4,449	100.0%	239	5.7%
在宅介護サービス	3,221	76.5%	3,324	74.7%	103	3.2%
シニア向け総合サービス	988	23.5%	1,124	25.3%	135	13.7%
セグメント利益	443	10.5%	554	12.5%	110	25.0%
在宅介護サービス	290	9.0%	327	9.8%	36	12.4%
シニア向け総合サービス	152	15.5%	227	20.3%	74	48.9%
調整額	△ 353	-8.4%	△ 376	-8.5%	△ 23	—
営業利益	90	2.2%	178	4.0%	87	96.3%

デイサービス（通所介護サービス）：売上高、件数の推移



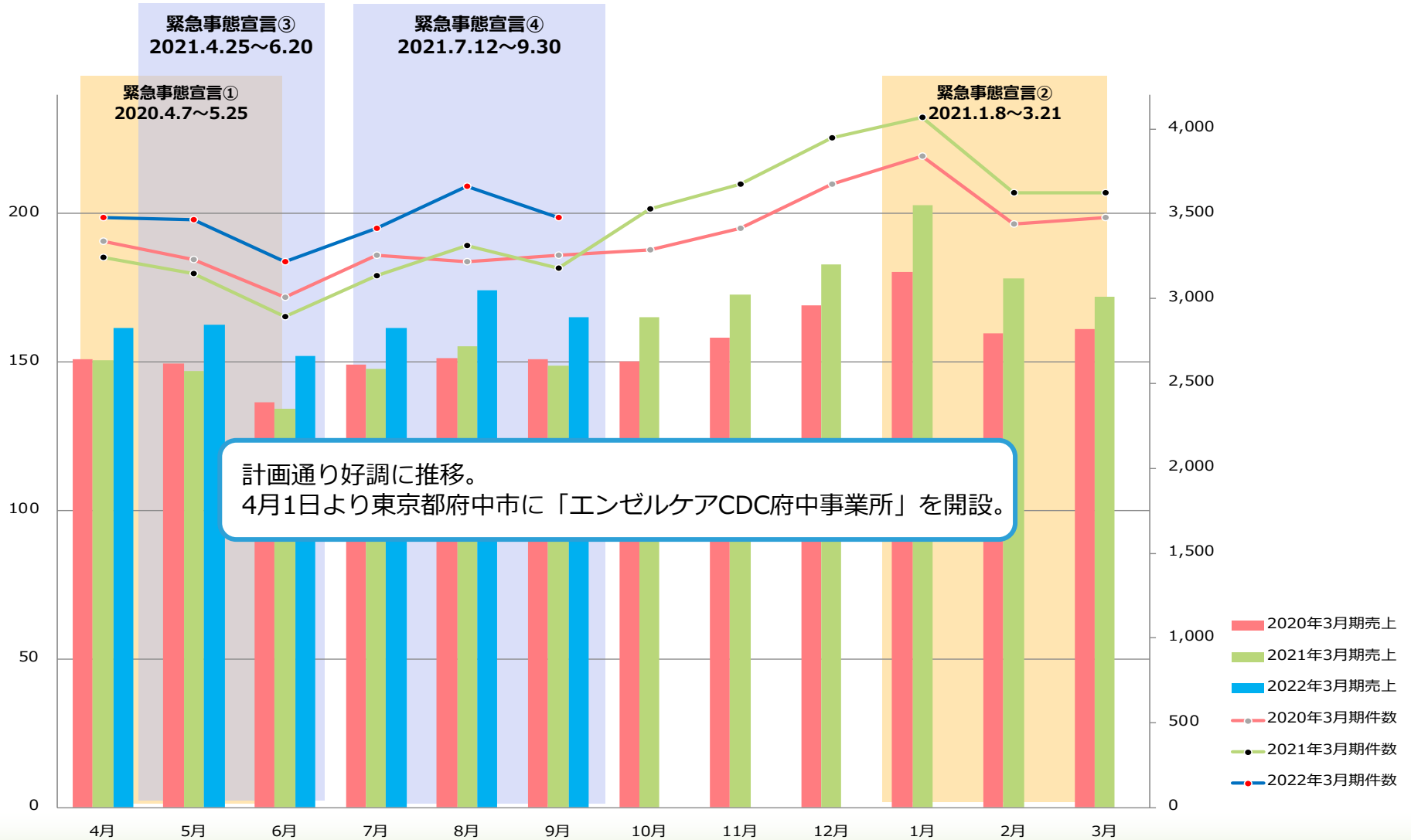
訪問入浴サービス：売上高、件数の推移



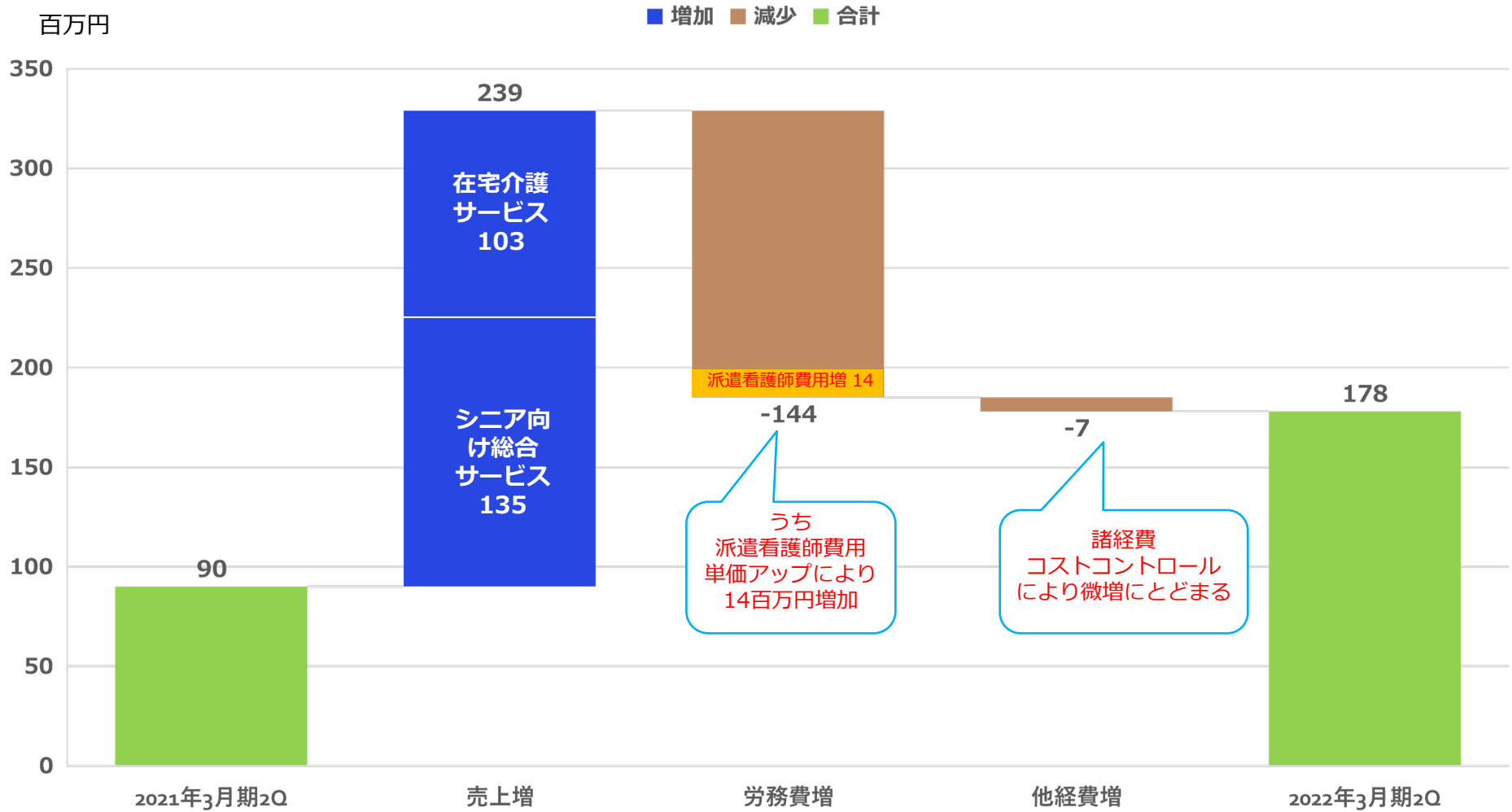
エンゼルケアサービス：売上高、件数の推移

百万円

件



営業利益の増減分析



2022年3月期 第2四半期末 貸借対照表概要

(百万円)	2021年3月期末 実績	2022年3月期 2Q末 実績	増減額
流動資産	2,404	2,403	△1
固定資産	815	819	3
資産合計	3,220	3,222	1
流動負債	1,008	960	△47
固定負債	355	317	△37
負債合計	1,363	1,278	△84
株主資本	1,868	1,955	87
その他の包括利益累計額	△11	△11	△0
純資産合計	1,857	1,943	86
負債・純資産合計	3,220	3,222	1
自己資本比率 (%)	57.7	60.3	2.7
1株当たり純資産 (円)	489.58	512.49	22.90

流動負債減少の主な要因

- ・未払法人税等の減少21百万円
- ・1年以内返済予定の長期借入金の減少24百万円

(百万円)	2021年3月期 2Q末	2022年3月期 2Q末	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	87	164	77
投資活動による キャッシュ・フロー	△5	△49	△44
財務活動による キャッシュ・フロー	340	△116	△456
現金及び現金同等物の 四半期末残高	1,375	966	△409

前期はコロナ対策
として借入一時金
あり

事業別事業所数・人員数の推移（連結）

■ 事業別事業所数の推移

(事業所数)	2021年3月期 期末				2022年3月期 2Q末				対前期末 比 増減数
	新規・ 増店	統合・ 移転	閉店	期末 事業所数	新規・ 増店	統合・ 移転	閉店	期末 事業所数	
在宅介護サービス事業	0	0	△ 2	79	0	0	0	79	0
デイサービス（通所介護サービス）	0	0	△ 2	44	0	0	0	44	0
訪問入浴サービス	0	0	0	14	0	0	0	14	0
その他サービス	0	0	0	21	0	0	0	21	0
シニア向け総合サービス事業	0	0	△ 1	24	1	0	0	25	1
子会社 - ヒューマンキャピタル	0	0	0	1	0	0	0	1	0
子会社 - 上海福原	0	0	0	4	0	0	0	4	0

■ 事業別従業員数の推移

(人員数)	2021年3月期 2Q末	2022年3月期 2Q末	対前期比 増減数
在宅介護サービス事業	1,101	1,095	△ 6
シニア向け総合サービス事業	297	307	10
合計	1,398	1,402	4

※数値にはパート従業員を含む

2022年3月期 2Q 新規出店

新規出店

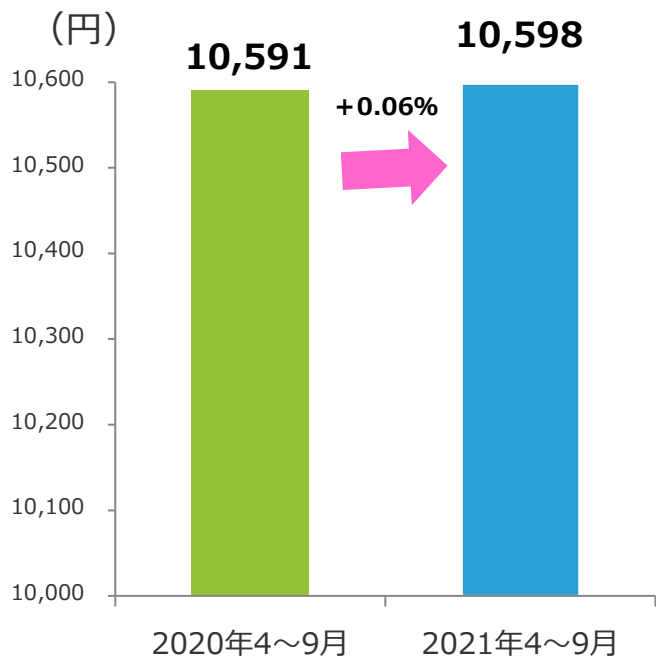
- エンゼルケアCDC府中【2021年4月】



介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

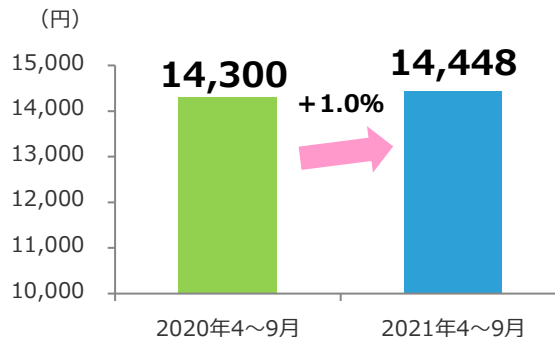
2022年3月期第2四半期 トピックス

デイサービス1件単価



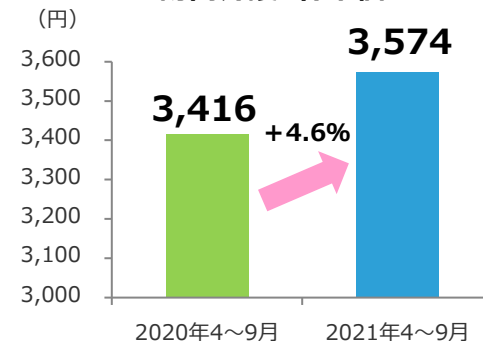
前年同期比7円増額 (0.06%増)

訪問入浴1件単価



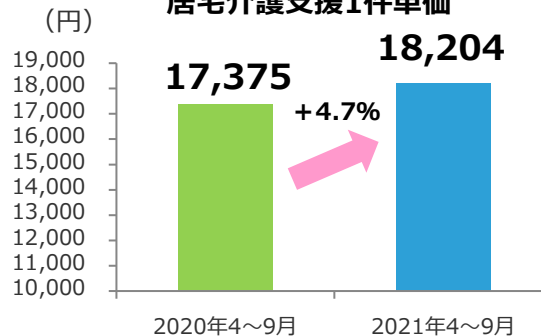
前年同期比148円増額 (1.0%増)

訪問介護1件単価



前年同期比158円増額 (4.6%増)

居宅介護支援1件単価



前年同期比829円増額 (4.7%増)

- ◎積極的な加算取得 (サービス向上)
 - ・サービス提供体制強化加算
 - ・口腔機能向上加算
 - ・特定事業所加算
 - ・中重度者ケア体制加算 など
- ◎新型コロナの一時的な措置

当社デイサービスセンター、全44カ所において 「科学的介護推進体制加算」を取得

- 当社デイサービスをご利用のお客様情報（ADL値、栄養状態、口腔機能、認知症の状況等）の登録が完了し、10月より、**すべてのデイサービスセンターにおいて科学的介護推進体制加算を取得開始**
- 利用者1名につき、月40単位を算定



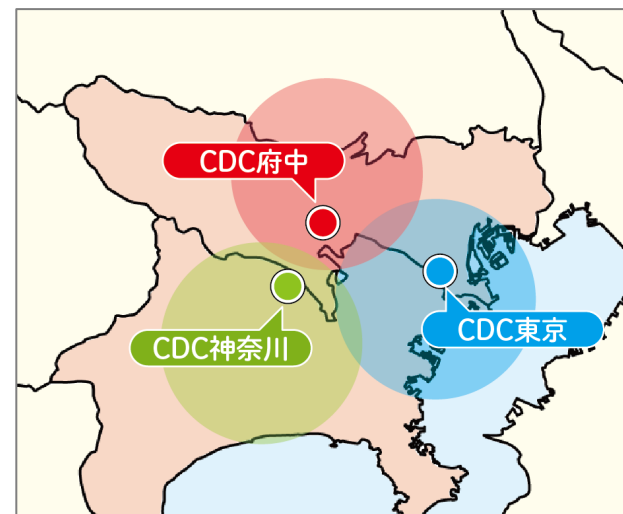
▲厚生労働省 LIFE科学的介護情報システム

科学的介護推進体制加算とは

- 介護サービス利用者へ実施したケア内容、利用者の状態などを厚生労働省の科学的介護情報システム（LIFE）にデータとして登録（提出）すると、そのデータを分析・評価した結果がフィードバックされるという仕組みで、フィードバックの内容を介護の現場で活用し、ケアの質の向上を図る取り組みを評価する加算。

2021年4月 「エンゼルケアCDC府中事業所」 オープン

- 東京都府中市にCDCサービスの3拠点目となる事業所をオープン。
- 既存事業所「CDC東京事業所」（東京都大田区）と、「CDC神奈川事業所」（神奈川県相模原市）と連携し、東京都、神奈川県、埼玉県からの依頼に対応。



※CDCサービス…エンゼルケア事業の中で、メイクや着付けを中心に行うサービス



2021年12月 デイサービスセンター2事業所同時オープン

デイサービスセンター大泉学園

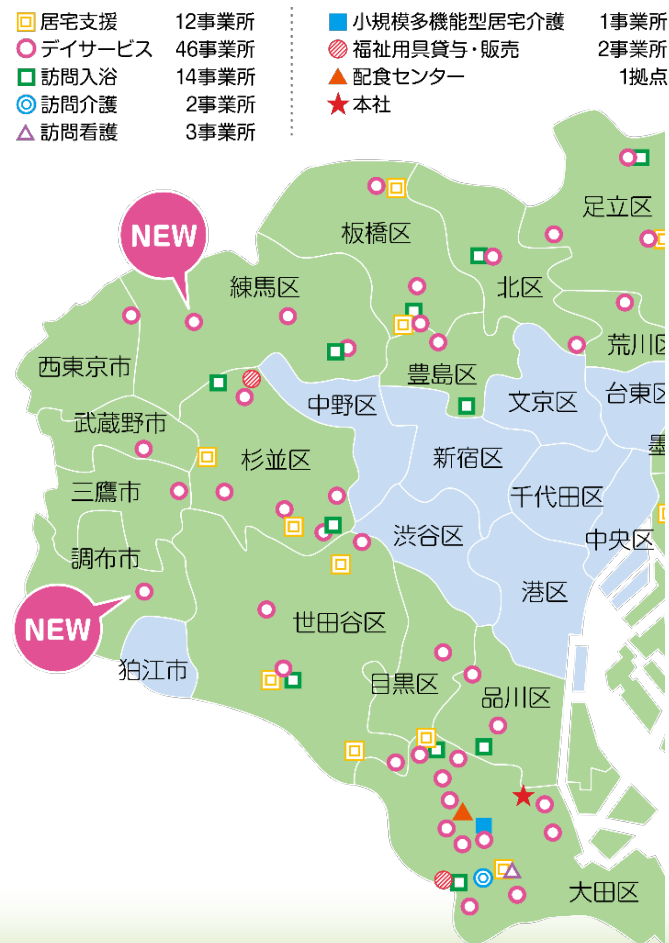


- 東京都練馬区内で
3事業所目
- 既存事業所との連携で
利用者のニーズに応じ
たサービスを提供
- 定員：25名（最大35名）

デイサービスセンター調布柴崎



- 東京都調布市に初進出
- 新たなエリアを開拓し、
商圈を拡大
- 定員：25名（最大37名）



➤ 男性も楽しい「趣味コーナー」

囲碁、将棋、パソコン、動画鑑賞など
自分の好きなことを楽しめるコーナー

➤ 本格的教室活動「遊悠倶楽部」

専門の外部講師による本格的な15種類の教室活動

➤ 機能訓練「ケアトレ」

お客様の生活目標や要望に合わせ、平行棒、
サイクルマシンなどの豊富な運動メニューを毎日実施

➤ 入浴設備

お客様の状態とニーズに合わせ、プライバシーに
配慮した2種類の浴室をご用意

➤ 選べるランチ

ご自分で選ぶ楽しさを感じていただくため、お昼の主菜を毎日お選びいただく方式

➤ 新型コロナウイルス対策

ハイブリッド触媒ラーフエイド®自社施工による抗ウイルス・抗菌・消臭対策



上海福原護理服務有限公司（中国事業）

- エンゼルケアサービスのサービス品質向上の取り組みの結果、認知度が高まり、葬儀場パートナーから高評を得、依頼件数が増加
- さらに葬儀場パートナーを増やし、拡大を図る

株式会社ケアサービスヒューマンキャピタル（人材事業）

- 上半期は前期同様、新型コロナウイルスの影響により、事業者、求職者ともに動きが少なく、業績は低調
- 下半期は感染者数減少により、求職増加を想定し、マーケティング強化および体制強化を実施

男女ともに働きやすく、女性が能力を発揮しやすい職場環境を整備し、 「くるみん」「えるぼし」マークを取得

【くるみん】計画に定めた目標を達成し、一定の基準を満たした企業が『子育てサポート企業』として、厚生労働大臣の認定で取得できるマーク



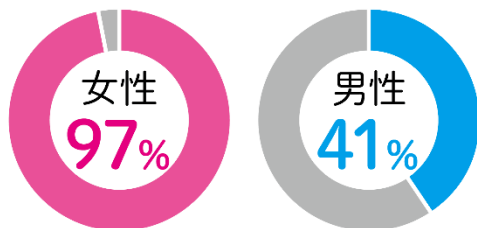
【えるぼし】『女性活躍に関する一定の基準』を満たした企業の中から、より優良な企業に与えられる厚生労働大臣認定のマーク

従業員男女比 女性59%：男性41%

育休取得の支援

- 短時間正社員制度
- 産休育休からの復職サポート

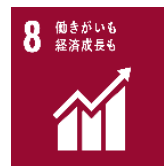
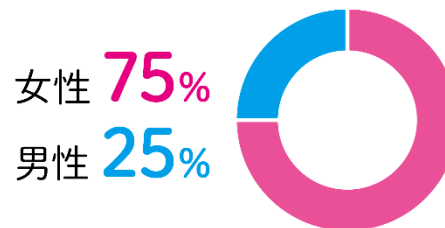
[育休取得率]



女性が働きやすい就労制度

- パートから正社員へ転換制度
- 再雇用制度

[各制度活用の男女比]



2022年3月期 業績予想概要

(百万円)	2022年3月期 第2四半期 (連結)		2022年3月期 通期 (連結)	
	実績	対売上高 比率	予想	対売上高 比率
売上高	4,449	100.0%	9,278	100.0%
在宅介護サービス事業	3,324	74.7%	6,897	74.3%
シニア向け総合サービス事業	1,124	25.3%	2,380	25.7%
営業利益	178	4.0%	368	4.0%
経常利益	191	4.3%	372	4.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	119	2.7%	229	2.5%



介護からエンゼルケアまで
～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～
株式会社 ケアサービス

【ご参考】 中期成長戦略

守りから攻めへの転換期

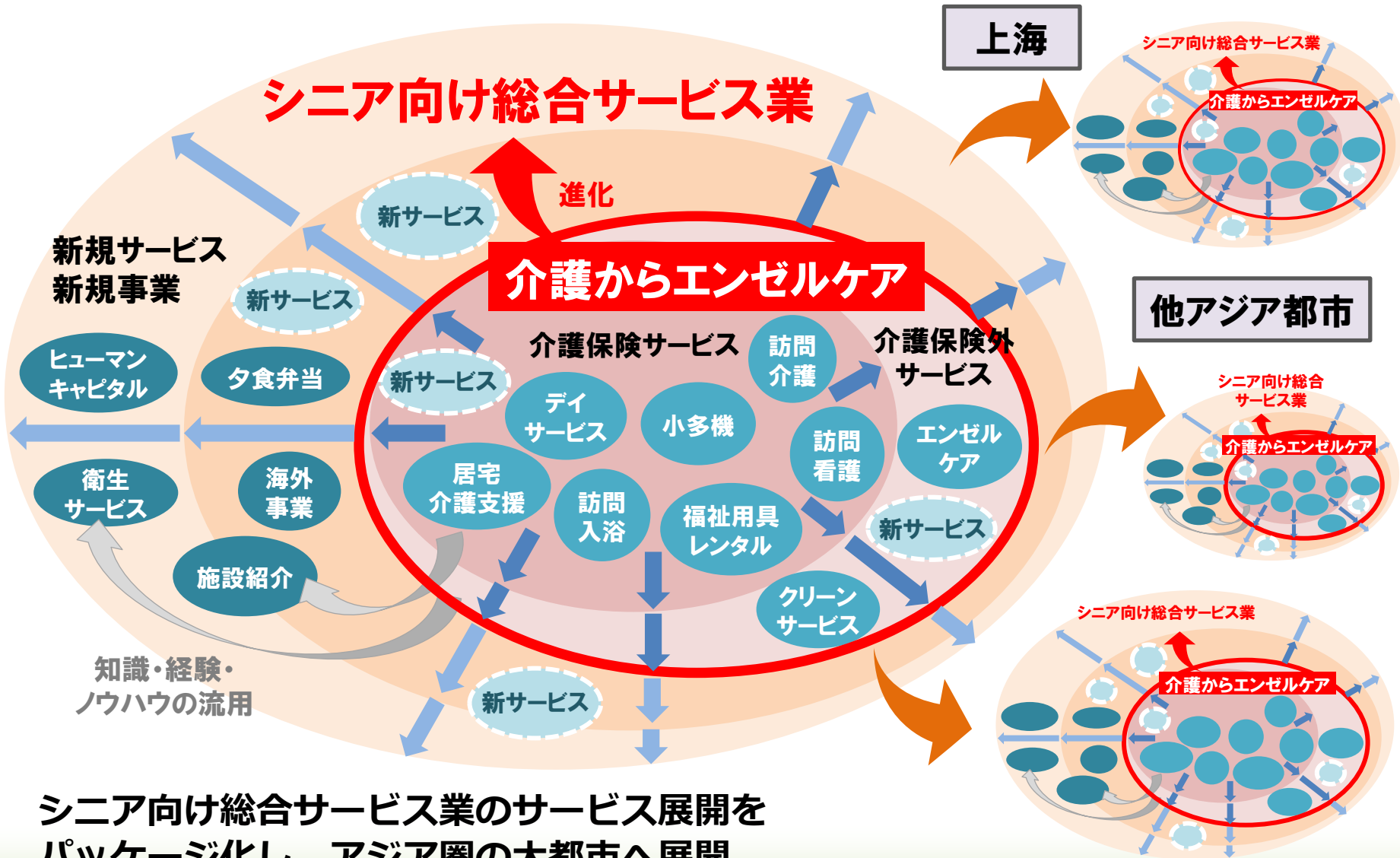
守る時間は終わった

今後は、コロナ禍でもアクセルを踏み大きく成長する

- 「成長拡大」と「品質向上」の両立 （両輪とも拡大）
- 従業員が希望を抱き、将来や人生を託せる会社へ
- 将来にわたり、自律的に成長継続ができる経営体制基盤の強化

介護からエンゼルケア
↓
シニア向け総合サービス業

アジア圏の大都市における
シニア向け総合サービス事業者を目指す



シニア向け総合サービス業のサービス展開をパッケージ化し、アジア圏の大都市へ展開

■ ケアマネジャーを起点とした利用者目線での事業の連携

エリア マーケティング

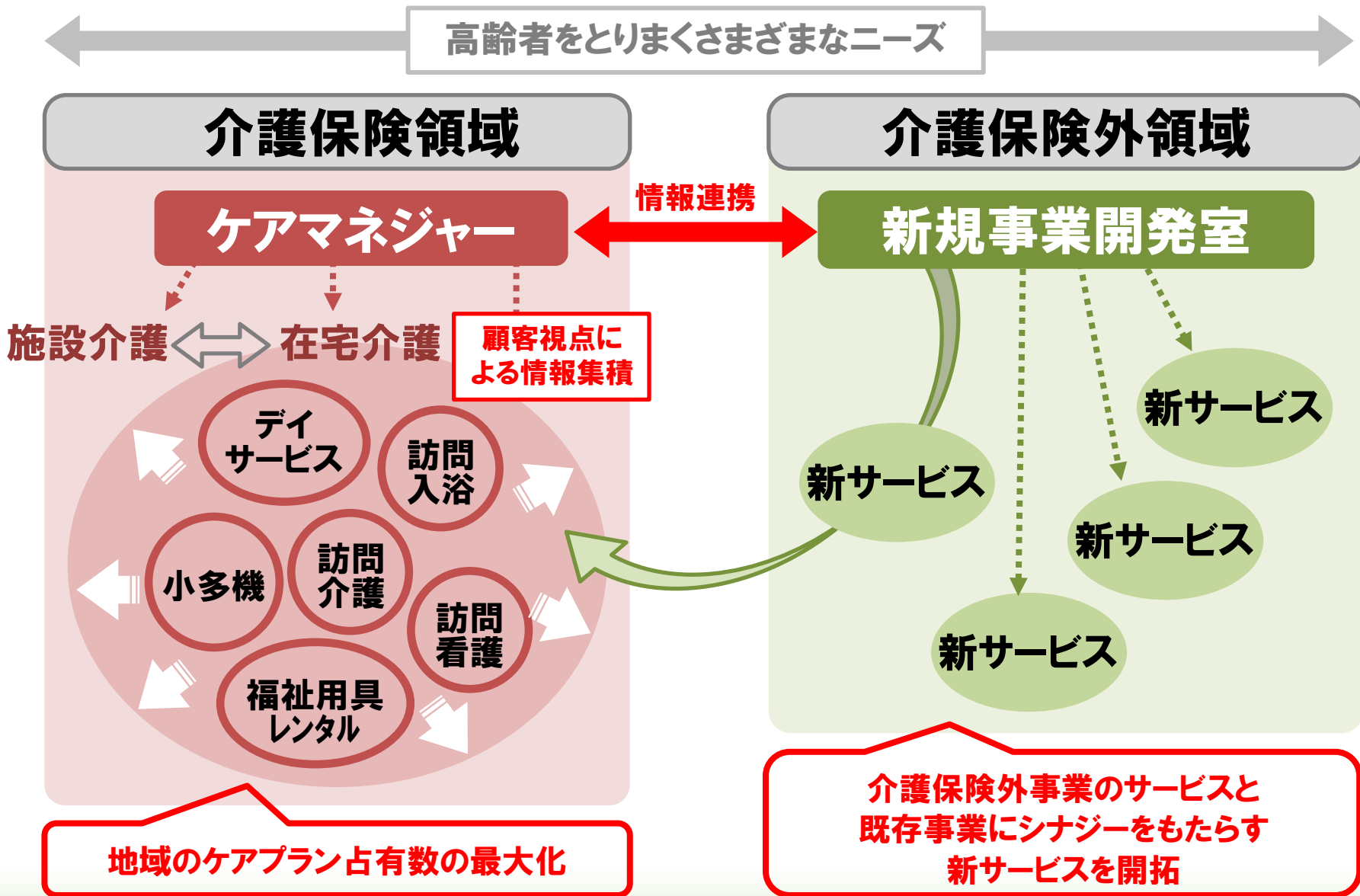
- 自社ケアマネの視点を活かし、地域自社連携によるサービスの充実、品質向上により、エリアにおけるケアサービスのお客様数を最大化する
- 顧客視点による情報集積・分析

■ 顧客データベース有効活用により、お客様のニーズを追求

■ 介護保険外サービスの新規事業開拓

次の柱となる 事業の創出

- いくつもの新規事業、新サービスをローンチし、介護保険外の事業を高成長させ、高収益を上げる
- 既存事業にシナジーを生み出す事業開発



■ 人材育成

- チームビルディングに注力、教育の徹底による離職率の改善

■ 各組織の生産性と効率性の最大化のためのサポート

- 購買業務の強化
 - ・ 価格の市場調査
 - ・ 仕入先の見直しおよび価格競争による購買コスト低減
- データ化による効率性の最大化
 - ・ 労働時間、人件費、光熱費、消耗品費等をデータ化し、各事業所でコスト削減ができる仕組みを作る

セグメント区分	所属サービス	子会社
<p>在宅介護サービス事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ デイサービス ・ 訪問入浴 ・ 訪問介護 ・ 訪問看護 ・ 小規模多機能型居宅介護 ・ 居宅介護支援 ・ 福祉用具貸与・販売 ・ 配食サービス 	
<p>シニア向け 総合サービス事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ エンゼルケア ・ クリーンサービス ・ シニア向け施設紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヒューマンキャピタル ・ 上海福原

本資料のいかなる情報も、弊社株式購入や売却などを勧誘するものではありません。

本資料に記載されている業績予想及び将来の予測等に関する記述は、資料作成時点で入手された情報に基づき弊社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おき下さい。

お問い合わせ先

株式会社ケアサービス 経理経営管理部
TEL 03-5753-1170
E-mail ir@care.co.jp